

# 宮崎日日新聞

THE MIYANICHI

2020年(令和2年) 11月27日(金)

地域統合 22

## 顔

「古里は自分たちで守る。塚田を離れた人がいつでも帰ってこられる環境を整えたい」。高齢の1人暮らしや空き家が増える中、生まれ育った日南市塚田の景観整備に取り組む。今年4月に住民有志

日南市塚田の景観整備に取り組む

### 日高 万英さん



で「下塚田ふるさと応援隊」(作本眞悟会長、13人)を結成。県道沿いや堤防の草刈り、塚

田神社の鳥居の塗装など活動は多岐にわたる。運営委員長として段取りや用具準備を率先し、会員を支える。地域活性化にも力を注ぐ。毎年5月には田園に数百匹のこいのぼりを掲げ、昨冬は廃油を使った竹灯籠300個を製作。田んぼ沿いや神社の石段を照らした。「見に来てくれる人のため。塚田の風物詩になればいい」と、今年も準備を進める。28年間務めた酒造会社を昨年退社。家業の農業に専念し、コメや野菜作りに励む。同市塚田。応援隊では最年少の54歳。(武龍大郎)

地域統合  
ワイド